

各位

会 社 名 株 式 会 社 ア バ ン ト 代表者名 代表取締役社長 森川 徹治 (コード:3836、東証第一部) 問合せ先 取締役財務担当 春日 尚義 (TEL:03-6864-0100 代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年5月7日開催の取締役会において、下記のとおり、最近の業績動向を踏まえ、2018年8月3日に公表をいたしました 2019年6月期連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

2019年6月期通期連結業績予想数値の修正 (2018年7月1日 ~ 2019年6月30日)

2010 0 /	1 1/1/1/17/1/1/17	_//14 //	// // 1 /Liv	八 II二 ·	19 11 (1	010 1) 1 1	L H 2010	1 0 71 00 H /	
					売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
					百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前 回 (2018年	発 表 E 8 月 3 日	予 発表)	想(A))	13, 578	1, 654	1, 654	1, 078	57. 42
今 回	修 正	予	想(B)	14,000	1, 900	1,900	1, 212	64. 53
増	減	額	(B-A)	422	246	246	134	_
増	減		率(%)	3. 1	14. 9	14.9	12. 4	_
(ご参考 (2018 年	·) 前 期 E6月期)	実	績		12, 110	1, 631	1, 632	1,062	56. 57

修正の理由

連結会計関連事業における大型案件の収益性が見込んでいたよりも良好に推移していること、およびビジネス・インテリジェンス事業の収益性が予想よりも向上したこと等により、第3四半期累計会計期間の業績は順調に推移しております。

一方で、当会計年度末に向けては、翌会計年度以降に備えた戦略的人材採用の強化、従業員の増加 対応や労働環境改善のためのオフィスの増改築、業績に応じた役員・従業員への賞与の支給等、多様 な費用の増大を予定しております。また、連結会計関連事業における大型案件については、引き続き 将来の製品力やプロジェクト管理力の強化、並びに新たなソリューション開発に直結する案件として、 一時的な収益性の低下があったとしても完遂することを重視して取り組んでまいります。

これらを総合的に勘案した結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が、いずれも前回発表値(2018年8月3日公表)を上回る見込みとなったことから修正いたします。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。